

安全データシート

整理番号: IK106GJ01

作成日: 2024/07/12

改定日: 2025/03/14

版: 2

1. 化学品及び会社情報

製品名 : Ink Black R02
商品コード : CT290069
適合機種 : Jet Press1160CF
供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
046-237-1686
供給者のファクシミリ番号又はe-mail アドレス : [e-mail アドレス] dge-fb-msds-admin@fujifilm.com
担当部門 : 品質保証部
環境商品安全統括 G
推奨用途 : インクジェットインク
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類 : 本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分及び濃度又は濃度範囲 : 営業上の秘密に該当する通知対象物質の含有量は、10%刻みの記載とする。
(基発 0424 第 2 号に基づく)

化学名又は一般名	含有量(重量%)	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS Registry No.
水	60-80%	規制対象外(天然物)/既存化学物質	7732-18-5
プロパン - 1, 2 - ジオール	5-15%	(2)-234/2-(8)-321,2-(8)-323	57-55-6
カーボンブラック	1-10%	非開示	非開示
有機溶剤 A	1-10%	非開示	非開示
トリエタノールアミン	0-1%	(2)-308/(2)-308	102-71-6

Ink Black R02 商品コード：CT290069 適合機種：Jet Press 1160CF
富士フイルムビジネスイノベーション(株) IK106GJ01

作成日：2024/07/12
改定日：2025/03/14
版：2

国連分類：該当せず

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類(PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート(BBP)、ジブチルフタレート(DBP)、およびジイソブチルフタレート(DIBP)を含有しない

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医者に連絡する。
- 皮膚に付着した場合：石けん(鹼)と水で洗い流す。刺激が強まったり継続したりする場合は医者の手当てを受ける。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり継続したりする場合は医者の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水で口をすすぐこと。大量に飲み込んだ場合は、直ちに医者に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：データなし
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項：医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
- 医師に対する特別な注意事項：症状は遅れて出てくることがある。この安全データシートを担当医に見せる。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：水噴射。耐アルコール泡。粉末。二酸化炭素(CO2)。
- 使ってはならない消化剤：棒状水を使用しない；火災を拡散し拡大する。
- 特有の危険有害性：火災により刺激性、腐食性および/または有毒なガスが発生する恐れがある。
- 特有の消火方法：通常の消化手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：適切な保護具を着用する。
- 一般的な火災の危険性：異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
- 特定の消化方法：危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：関係者以外の立ち入りを禁止する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。蒸気およびスプレーストの吸入を避ける。十分な換気を確保する。流出が著しく、回収が困難な場合は、地域の行政当局に連絡する。
個人用保護具については本 SDS の項目 8 を参照。皮膚および眼との接触を避ける。
- 環境に対する注意事項：河川等への放出を避けること。排水溝/水系環境に漏出した場合は地域の行政当局に連絡する。安全を確保してから漏出や流出を止める。

Ink Black R02 商品コード：CT290069 適合機種：Jet Press 1160CF
富士フイルムビジネスソリューション(株) IK106GJ01

作成日：2024/07/12
改定日：2025/03/14
版：2

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : この製品は水に混和性である。
水路、下水道、地下または密閉された場所への流入を防ぐ。
- 大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。
- 少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。
- 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物処理については項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 適切な換気を行う。取り扱い場所の近くには洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設けるのが望ましい。
- 安全取扱注意事項 : 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。その他、労働安全衛生法に定めるところに従う。
- 衛生対策 : 本製品を取り扱った後、飲食や喫煙前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 直射日光が入ら居ない、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。容器を密閉しておくこと。混触禁止物質から離して保管すること（本 SDS の項目 10 を参照）。凍結から保護する。保管温度：0℃～35℃
- 安全な容器包装材 : 環境汚染を避けるために、適切な容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 管理濃度	ACGIH TLV	濃度基準値
カーボンブラック	TWA:4mg/m ³ TWA:1mg/m ³	-	ACGIH の最新版の 許容濃度を参照	8時間濃度基準値 レスピラブル粒子とし て0.3 mg/m ³
トリエタノールアミン (CAS 102-71-6)	-	-	ACGIH の最新版の 許容濃度を参照	-

- 設備対策 : 適切な全体換気または局所排気装置を設置する。

Ink Black R02 商品コード : CT290069 適合機種 : Jet Press 1160CF
富士フイルムビジネスソリューション(株) IK106GJ01

作成日: 2024/07/12
改定日: 2025/03/14
版: 2

保護具

呼吸用保護具	: 適切な呼吸用保護具を着用する。(防毒マスク)
手の保護具	: 適切な耐化学薬品性の手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	: サイドシールドのついた安全眼鏡 (またはゴーグル) を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理状態	: 液体
色	: 黒色
臭い	: 僅かな臭い
臭いのしきい値	: 情報なし
融点/凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 該当しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発又は可燃の上限界	: 情報なし
爆発又は可燃の下限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 7 - 9.5
動粘度	
動粘性率	: 情報なし
動的粘度	: 情報なし
水への溶解度	: 分散可能
溶解度	: 情報なし
n-オクタノール/水 d 分配係数 (log)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	
粒径	: 情報なし
粒径分布	: 情報なし
その他の情報	
粘度 (粘性率)	: 8 - 12 mPa・s
粘度 (温度)	: 25°C (77°F)

10. 安定性及び反応性

反応性	:	本製品は、通常使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安全性	:	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	:	危険有害な反応が起きる恐れはない。
避けるべき条件	:	高温および直射日光、凍結を避ける。
混触危険物質	:	強い酸、アルカリおよび酸化剤
危険有害な分解生成物	:	窒素酸化物 (NOx)

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50 (ラット)	:	>2000mg/kg (GHS 区分に該当しない)
経皮→LD50 (-)	:	情報なし
吸入→LC50 (-)	:	情報なし
皮膚刺激性	:	刺激性なし
皮膚腐食性	:	腐食性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	刺激性なし
呼吸器感作性/皮膚感作性 (モルモット)	:	皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性 (変異原性)	:	AMES 試験 <u>陰性</u>
発がん性	:	カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって"グループ2B(ヒトに対して発がん性があるかもしれない)"に分類される。(文献1) IARC は、カーボンブラックの吸入によって動物に発がん性の可能性があることを示唆しているが、本製品は液体であり、本製品中のカーボンブラックを吸入する可能性は極めて低い。なお、IARC は、カーボンブラックは経口暴露、経皮暴露では発がん性がないことを示唆している。
生殖毒性	:	生殖毒性及び発生毒性物質(文献 2)を含有せず。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	情報なし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	情報なし
誤えん性有害性	:	情報なし
その他	:	情報なし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

急性毒性	魚類 96 時間 LC50 (ヒメダカ)	: >500 mg/L (GHS 区分に該当しない)
	ミジンコ類 48 時間 EC50 (オオミジンコ)	: >100 mg/L (GHS 区分に該当しない)
	藻類 72 時間 EC50 (ムレミカズキモ)	: >100 mg/L (GHS 区分に該当しない)

残留性・分解性 : 情報なし

生体蓄積性 : 情報なし

土壤中の移動性 : 情報なし

オゾン層への有害性 : 情報なし

他の有害影響 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：

残余廃棄物	: 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	: 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG	: 危険物には該当しない。
IATA	: 危険物には該当しない。
国内規制がある場合の規制情報	: 15 項参照。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

P R T R 法第一種指定化学物質*1	: 該当しない
安衛法第五七条の一表示対象物*2	: カーボンブラック、プロパン-1,2-ジオール（別名プロピレングリコール）*5 *5 2025 年 4 月 1 日以降、名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9）
安衛法第五七条の二通知対象物*2	: カーボンブラック、トリエタノールアミン*6、 プロパン-1,2-ジオール（別名プロピレングリコール）*6 *6 2025 年 4 月 1 日以降、名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9）

その他適用法令なし。(対象法令:毒劇法*3、化審法*4、消防法)

*1 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

*2 労働安全衛生法 *3 毒物及び劇物取締法 *4 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

Ink Black R02 商品コード : CT290069 適合機種 : Jet Press 1160CF
富士フイルムビジネスソリューション(株) IK106GJ01

作成日: 2024/07/12
改定日: 2025/03/14
版: 2

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- (文献 1) : ◆ IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC:国際癌研究機関)
◆ National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
◆ TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令67/548/EECと1999/45/ECを改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006を改正することに関する規則(EC)No1272/2008 (CLP規則)
◆ 日本産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)
- (文献 2) : ◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008 (CLP 規則)